

平成 18 年度第 2 回備前市公共交通会議 議事概要

日 時：平成 19 年 2 月 26 日(月) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所：備前市役所 3F 大会議室

出席者：(敬称略)

(委員)西岡 憲康、武内 清志、杉原 慶悟、大和 史明、大本 栄一
有本 和彦、井上 邦允、沖田 正嗣、宗包 早苗

以上 9 名

(専門員)松原 浩一、箕作 一朗、千葉 昭

(事務局)企画課、教育委員会職員 4 名

欠席者：(敬称略)

池田 隆之、井川 勲、村上 礼子

傍聴人：山陽新聞社、住民 1 名

議 事

・協議事項

- (1) 市営バス(三国東西線、和意谷線)の運賃について(備前市 提案)
- (2) 和気町藤野～吉永病院間路線新設について(日生運輸株 提案)
- (3) 片上～柵原間のバス運行について(日生運輸株 提案)

【会議要旨】

協議事項 1 市営バス(三国東西線、和意谷線)の運賃について(備前市 提案) 承認

《事務局からの説明》

- 提案内容 運賃を1回の乗車につき100円徴収する。ただし、幼稚園児、小学生、中学生が通園、通学に利用するときは、無料とする。実施日は、6月1日からとする。
- 市営バス路線の位置確認
(三国東西線 吉永町三国地区を東西に運行。大股で日生運輸(株)路線と接続)
(和意谷線 吉永町牛中から吉永町吉永病院へ運行)いずれも辺地指定されている地区を運行。スクールバスとしての利用が主で一般の方と混乗。
- 三国東西線について
 - ・車両 10人乗りのワゴンで昨年10月に買い替え
 - ・利用者は、高齢者、幼稚園、小学生、中学生が中心
 - ・料金は、幼稚園、小学生、中学生、高齢者や障害者の方は無料。料金を払っての乗車は、数人 1ヶ月の収入が約9千円
 - ・大股～滝谷 200円、大股～飯掛 320円。
 - ・便数 平日は大股を中心として4往復、土曜日は2往復
- 和意谷線について
 - ・車両 24人乗りのマイクロバス
 - ・利用者は、高齢者、幼稚園、小学生、中学生が中心
 - ・料金は、幼稚園、小学生、中学生、高齢者や障害者の方は無料。料金を払っての乗車は、数人 1ヶ月の収入が約1千円
 - ・和意谷～吉永 270円、牛中～吉永 420円。
 - ・便数 平日は4往復、土曜日は2往復
- 3月議会で条例改正を提案。可決後に利用者へ周知。運輸局へ届。6月1日実施。

《質問・意見》

委員 (和意谷線) 小さいバスでいいのでは。

事務局 現在は車両がないので、これで運行している。

委員 (三国東西線 大股～滝谷) 200円払っているのが、100円になることか

事務局 高齢者、障害者等は、現在、施策で無料としているが、市の他地区のことや辺地であることを考慮して100円とした。

委員 (和意谷線) 和気町内を通らないと運行できないが、和気町の方は乗っているのか。

事務局 和気町内には、停留所が無いので乗っていない。

委員 収入増のためにも乗ってもいいようにできないか。

事務局 和気町内のことでもあるので、今後検討したい。

協議事項 2 和気町藤野～吉永病院間路線新設について(日生運輸(株) 提案) 承認

《事務局からの説明》

- 提案内容 備前市内の運行があるので、提案。和気町の交通会議では承認済。

《日生運輸株からの説明》

和気と吉永間には、JR しかない。今でも藤野までは日笠線として運行している。和気町民の要望で民家のあるところを吉永病院まで運行する。運行回数は、今後要望を聞いて決めたい。運行日は、月曜から金曜。料金は、距離制。

《質問・意見》

委員 市内へは、100mから 150m伸ばすだけか。終点は、吉永病院か。

日生運輸 そのとおり。

専門員 運行する道路幅は、2.5m。車の緒元を知りたい。家屋に接するような場所もある。

日生運輸

委員 備前市の負担はどうか

日生運輸 備前市の負担はない。

協議事項3 片上～柵原間のバス運行について(日生運輸株 提案)

承認

《事務局からの説明》

- 提案内容 備前市、和気町、赤磐市、美咲町が運行の赤字分を負担しているので市より説明。
- 利用者 平成3年から4年頃 約32万人。近年は約6万人
昨年4月に1週間乗車しての調査。
片上から和気方面への利用 通勤、通学、病院等での利用があるが、少ない。
- 現在の運行を維持していくのは、各市町の負担から困難。
- 和気駅、鶉飼谷温泉へ乗り入れる案
- 便数 現在 月～土 片上から矢田、周匝、吉ヶ原、柵原病院へ往復10回運行
日、祝祭日 往復4回運行
改正 月～金 片上から吉ヶ原、柵原病院へ往復5回運行。
片上から鶉飼谷温泉へ往復2回運行。
土 片上から柵原病院へ往復2回運行
日、祝祭日 運休
- 現行の片上発7:20と和気発16:07は確保
- 実施時期 4月中

《日生運輸株からの説明》

料金は、距離が変わるので20円ほど上がるところもあれば下がるところもある。

《質問・意見》

委員 備作高校へ備前から数人通学しているが、今年の3月で閉校となる。佐伯の人は、和気の病院へ行くニーズがあるが、備前へは少ない。市としても、今後継続しての運行が必要か検討していく。

《その他の意見》

委員 12月からの運行状況はどうか。

事務局 12月1日に新設の片上～寒河、福石～吉永病院前間に職員を乗車させて調査を実施。

また、1月に火・金に全路線、全便 日生運輸株の社員も乗車しての調査実施。片上

～寒河間では、昨年3月に宇野バスの調査と比較すると(一般・高齢者)約8割、1便あたりではほぼ同じ10.5人、これに小・中学生が加わり、便によっては、満員状態になる。他の路線は、運賃の変更の影響はほとんど無く変わっていない。また、住民からの要望は、増えてきた。

(委員) 三石の便、昼頃あったのがなくなった。

(福石～吉永病院前間の新設により)タクシーの売り上げが減ったと聞いている。

(委員) 地元意見と運輸局の意見が反対になる可能性があった。住民本位の考えで進めていくべきなのでは。

(委員) 住民がいいと思われることであれば、お互いに協力していく。この公共交通会議がその場。制度的に難しいのであれば、他の方向を一緒に考えていくことになる。